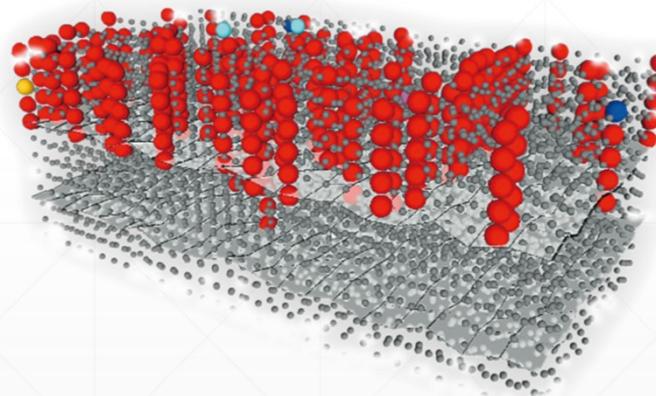


薬液注入工の流量制御・モニタリング装置

# 『Grout Conductor』

Information and **C**ommunication **T**echnology



---

日特建設株式会社 事業本部 地盤技術チーム  
金舛 能史

# はじめに

**Grout Conductor**は、薬液注入工法の施工時に、注入の制御（流量、注入圧力）をするとともに、それらをモニタリングするシステムです。

計画された注入量等を設定することにより、本システムにて流量計・グラウトポンプを集中制御することが可能です。また、注入データ（積算流量、注入圧力）は、デジタルデータとしてモニタリングでき、その結果を2次元、3次元で表示することができます。

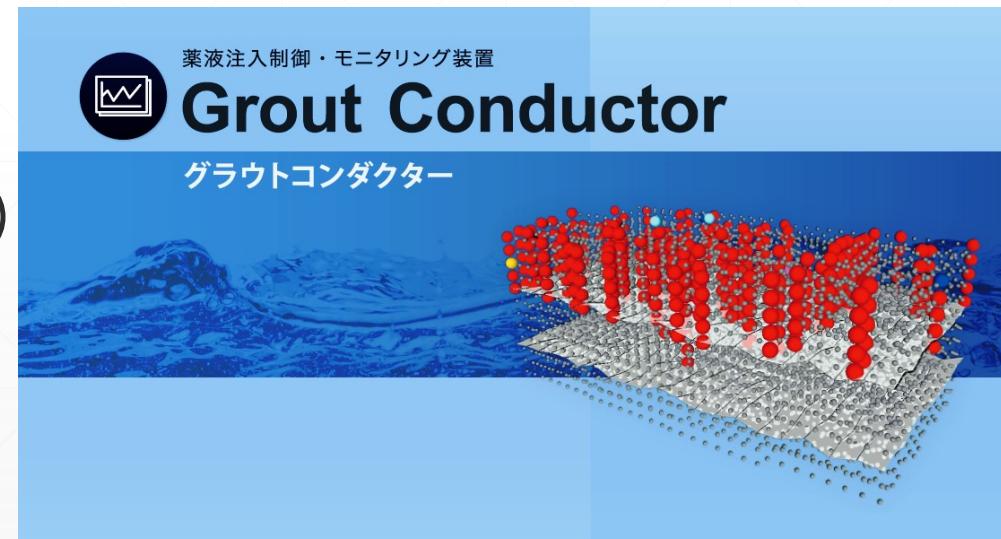
省力化、省人化、生産性の向上、施工の見える化などを目的として、様々なところで**ICT技術（Information and Communication Technology（情報通信技術））**が導入されています。

**Grout Conductor**も、省力化、省人化、生産性の向上、施工の見える化と時代のニーズに応える薬液注入工法のICT技術を目指して開発しました。

# Grout Conductor の概要

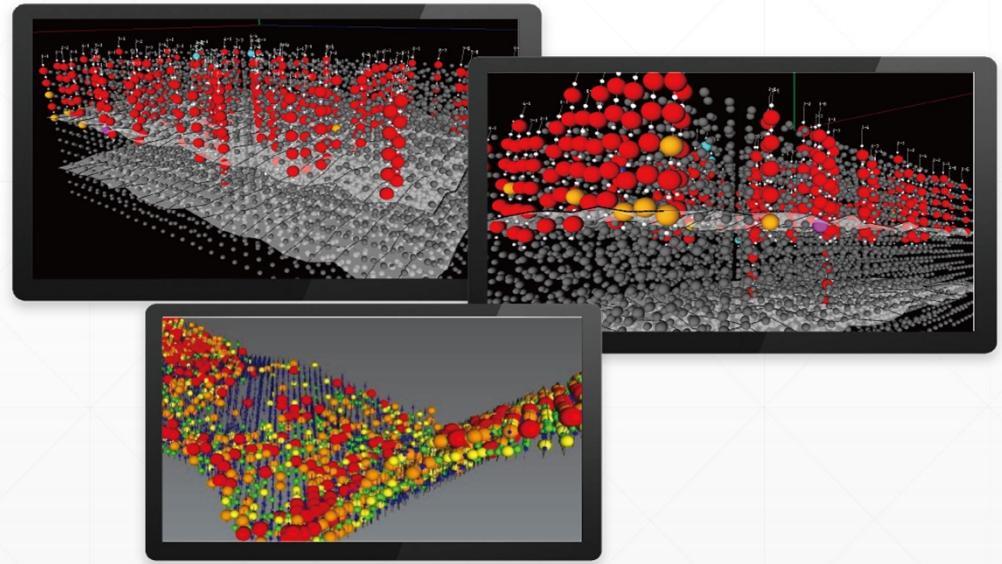
- ✓ ICT、省力化に向けて開発した当社オリジナルの『薬液注入制御・モニタリング装置』
- ✓ 多くの薬液注入工法、注入材料に使用可能

- 二重管ストレーナ工法
- ダブルパッカ工法（スリーブ注入工法）
- エキスパッカ-N工法（液状化対策）



# Grout Conductor の主な機能

- ❖ 注入データのリアルタイム表示、流量制御
- ❖ 注入データの取得と日報等の帳票を自動作成
- ❖ 注入データの3次元表示



# Grout Conductor の機能 (1)

## ❖ 注入データのリアルタイム表示、自動制御

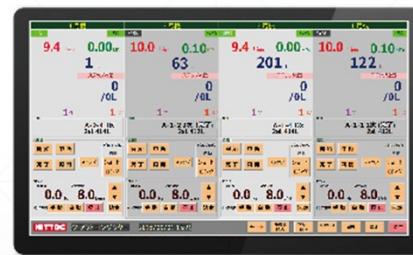
✓ Grout Conductor 1台で最大8セットの流量制御が可能

✓ 従来では、流量計8セットでは作業員は2名必要

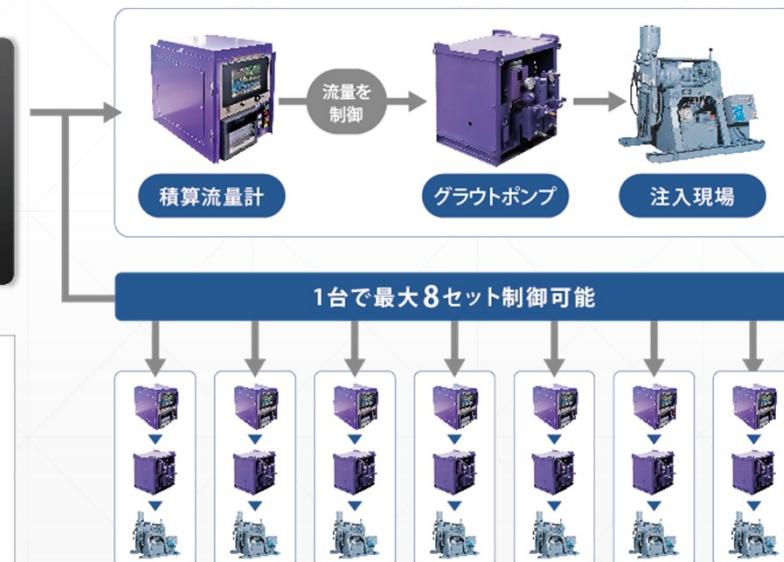
👉 1名で操作可能

✓ 特殊な難しい操作は必要なく、  
画面のボタンをクリック（タッチ）  
するだけで操作可能

👉 熟練工は必要ありません！

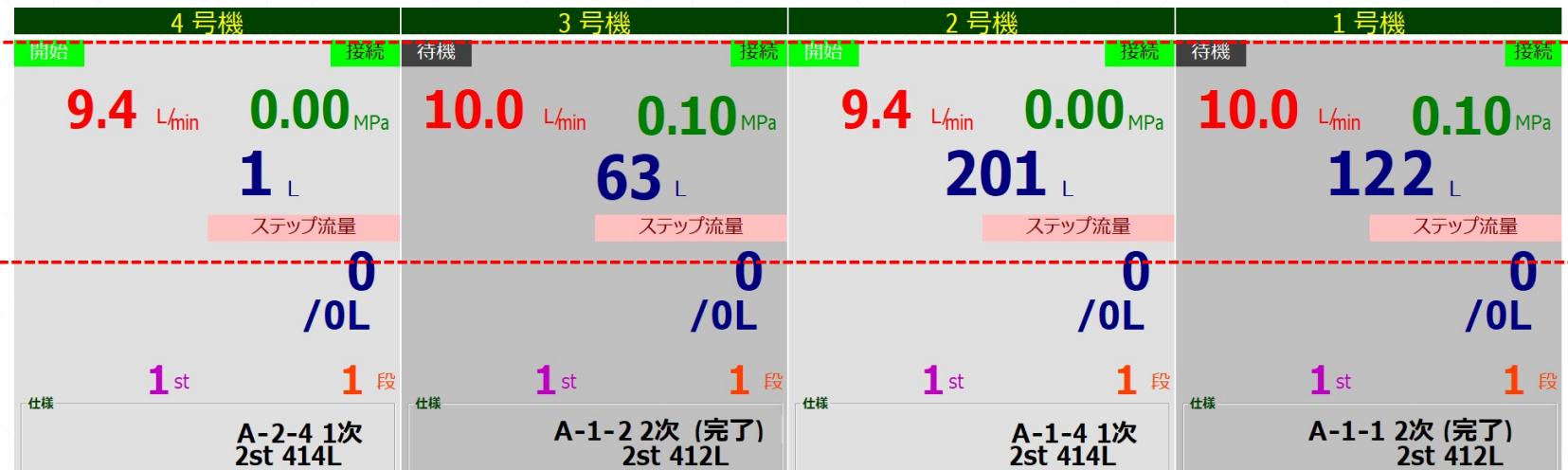


**注入制御・モニタリング装置**  
積算流量、注入圧力をモニタリング。  
本システム1台で最大8セットの流量  
計、グラウトポンプを制御可能です。

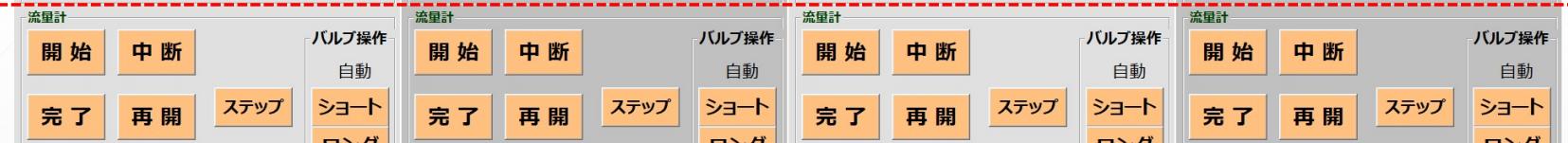


# Grout Conductor の機能 (1)

リアルタイムデータ  
(流量、圧力、  
積算注入量)



流量計の指示画面



注入ポンプの設定  
・指示画面



NITTOC

グラウトコンダクター

2018/09/01 15:21

チャート

仕様書  
読み込

ブザー  
停止

記録データ  
...

履歴

設定

終了

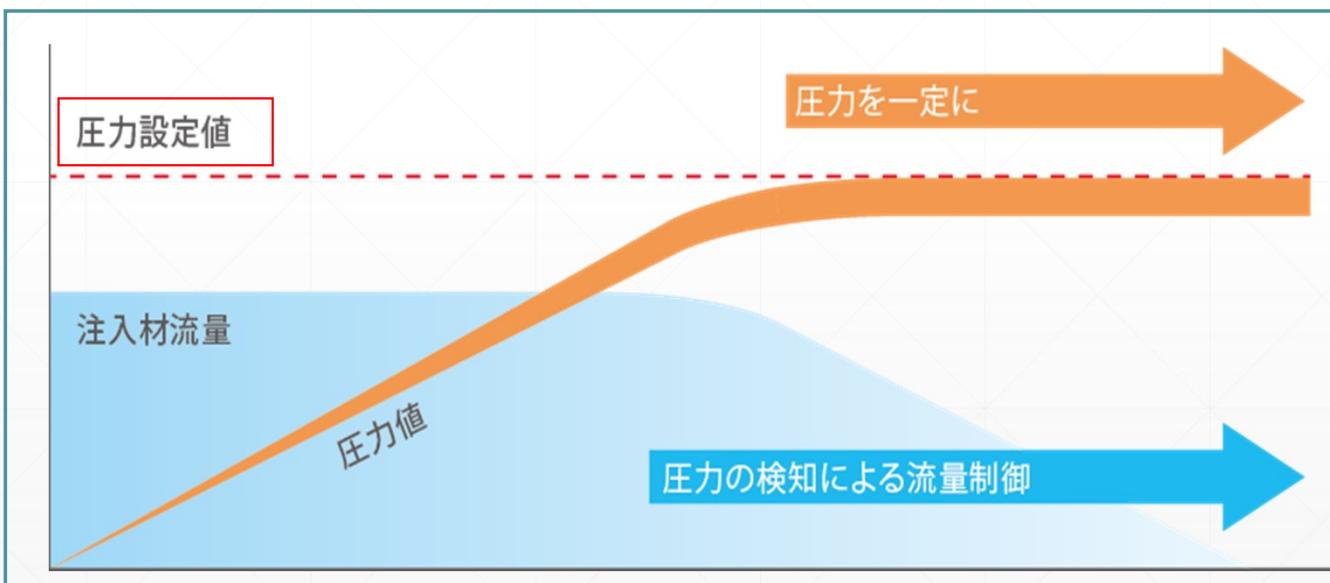
4セット施工時の操作画面

# Grout Conductor の機能 (1)

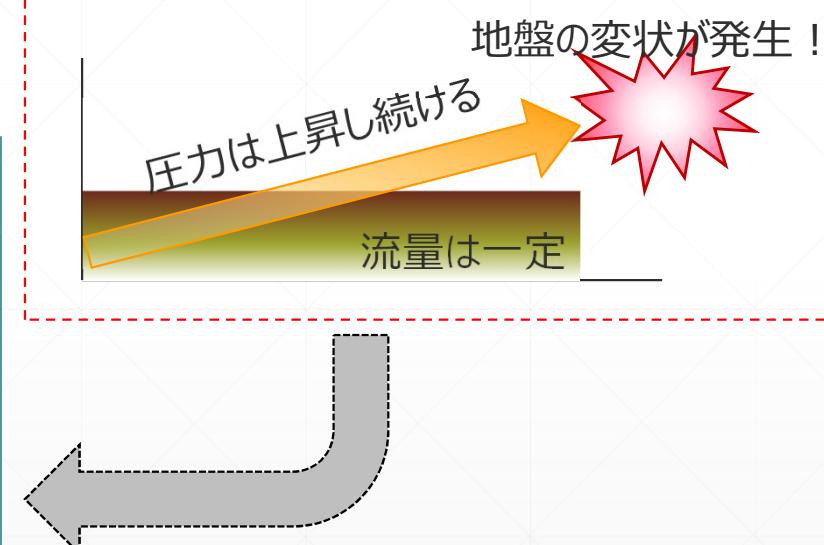
✓ 設定圧力値を超えないよう、注入材流量を自動制御

→ 周辺構造物、周辺地盤への影響を低減

→ ダムグラウトで培った注入技術を、軟弱地盤を対象とした薬液注入に応用



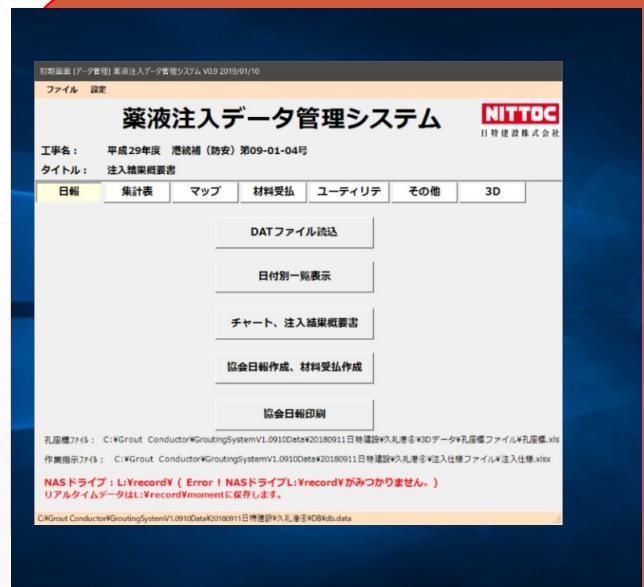
従来は注入材流量は常に一定  
→ 注入圧力は上昇し続ける  
→ 地盤の変状が発生



# 施工管理システムの機能 (2)

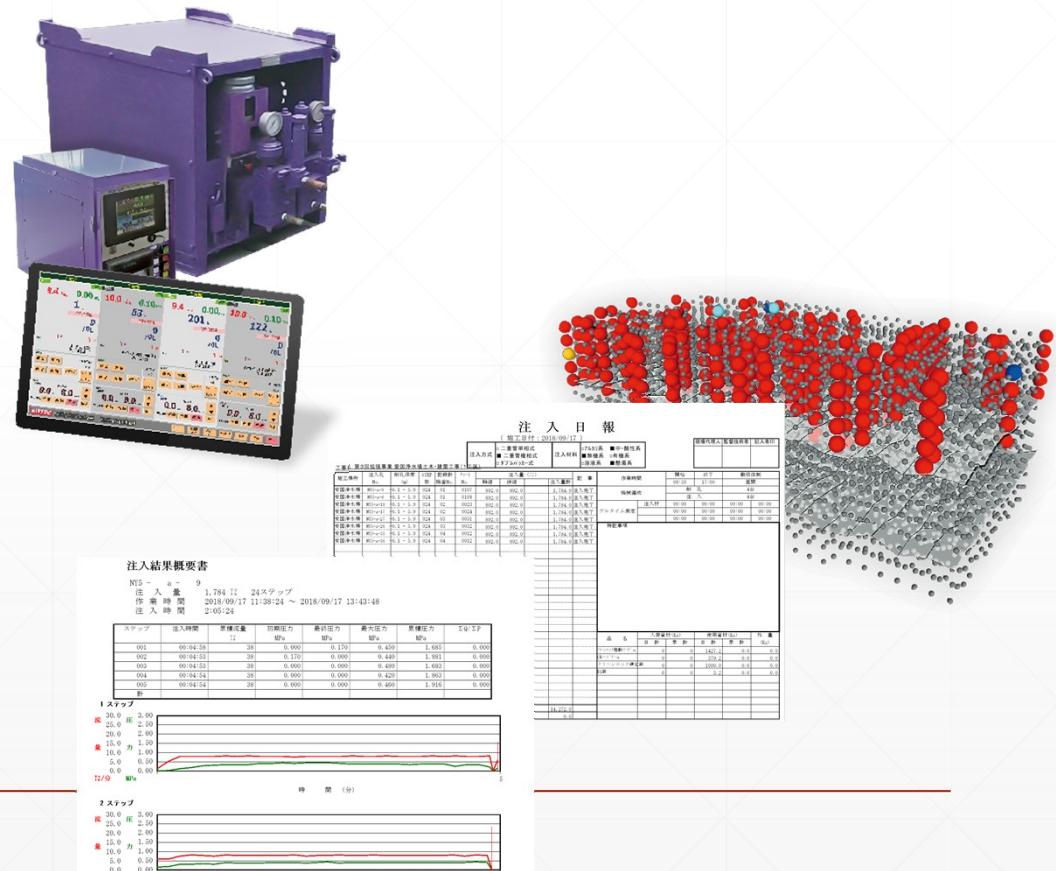
## ❖ 注入データの取得と日報等の帳票を自動作成 管理システム

- Grout Conductorから読み取ったデータ  
を自動解析し自動出力



データの取得

自動出力  
提出書類  
解析資料

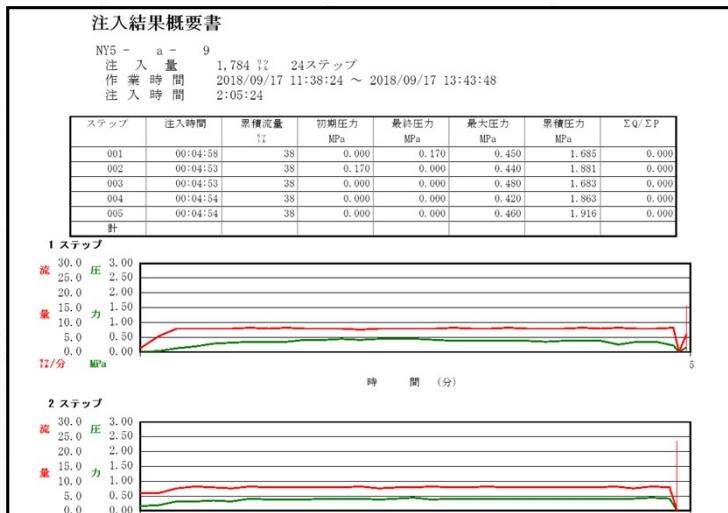


## Grout Conductor の機能 (2)

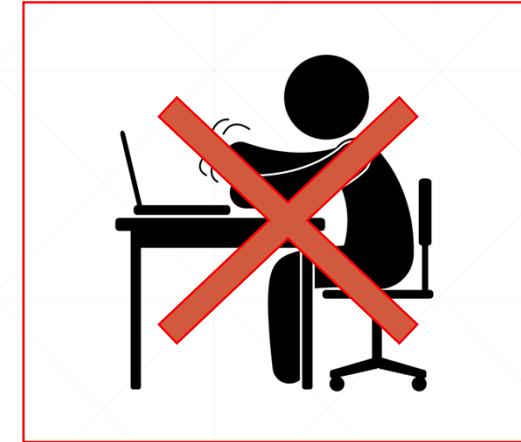
✓ 注入データをデジタルで集積 (省力化)

→ 帳票の自動作成が可能

注入日報



# 注入結果概要書



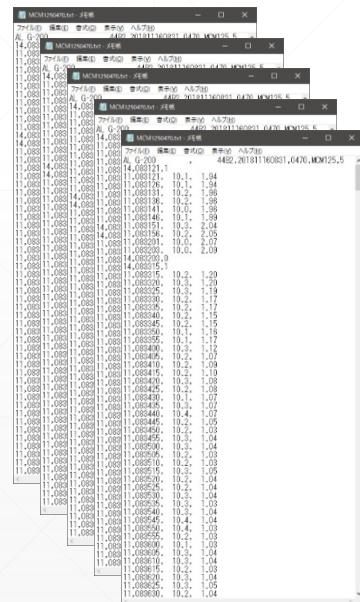
## 施工管理システムの機能 (3)

## ❖ 注入データの3次元表示

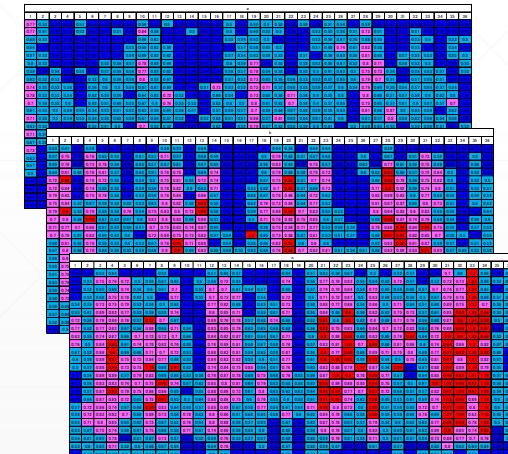
## 【従来】

- ✓ 日報などの提出書類は手入力
  - ✓ データはチャート用紙を人が読み手動で抽出し、解析

## チャート紙



手入力



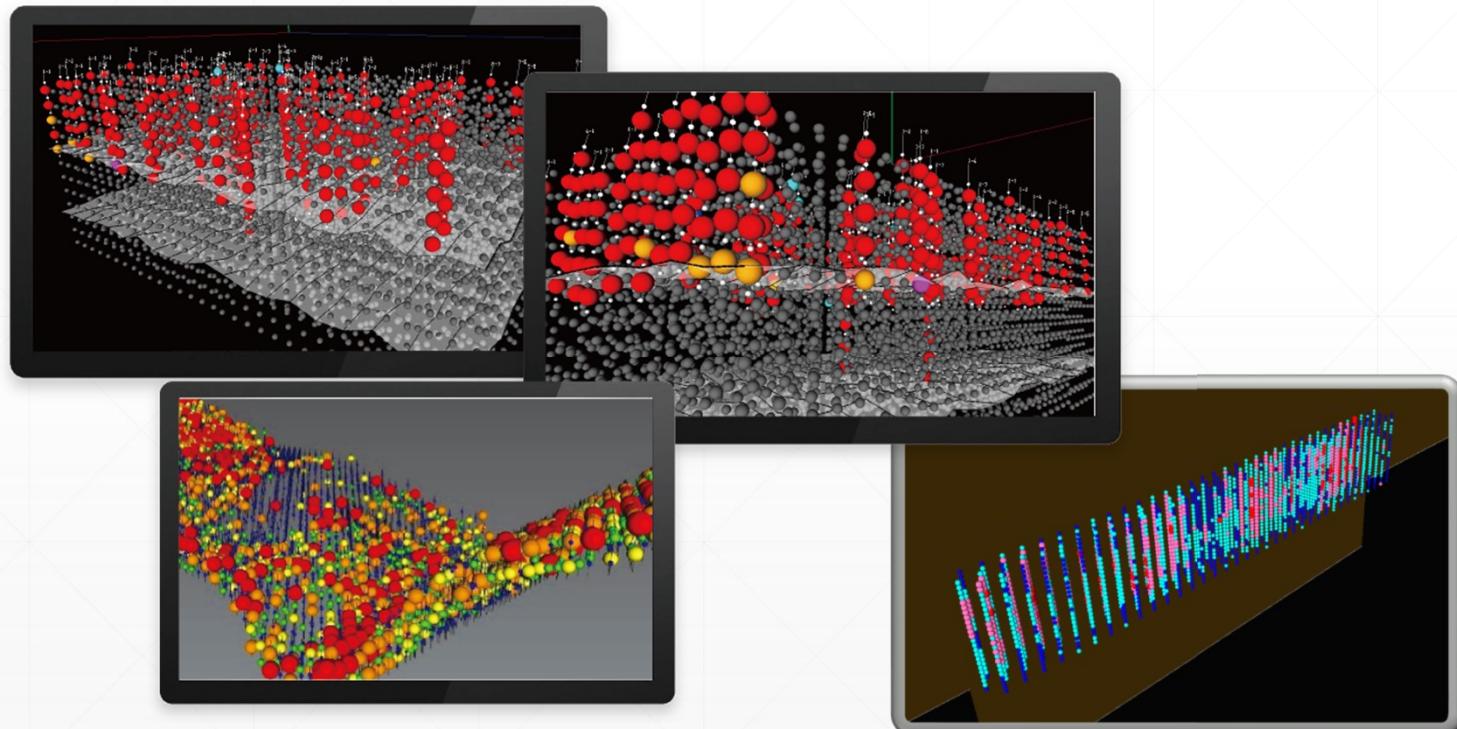
## 注入マップ等



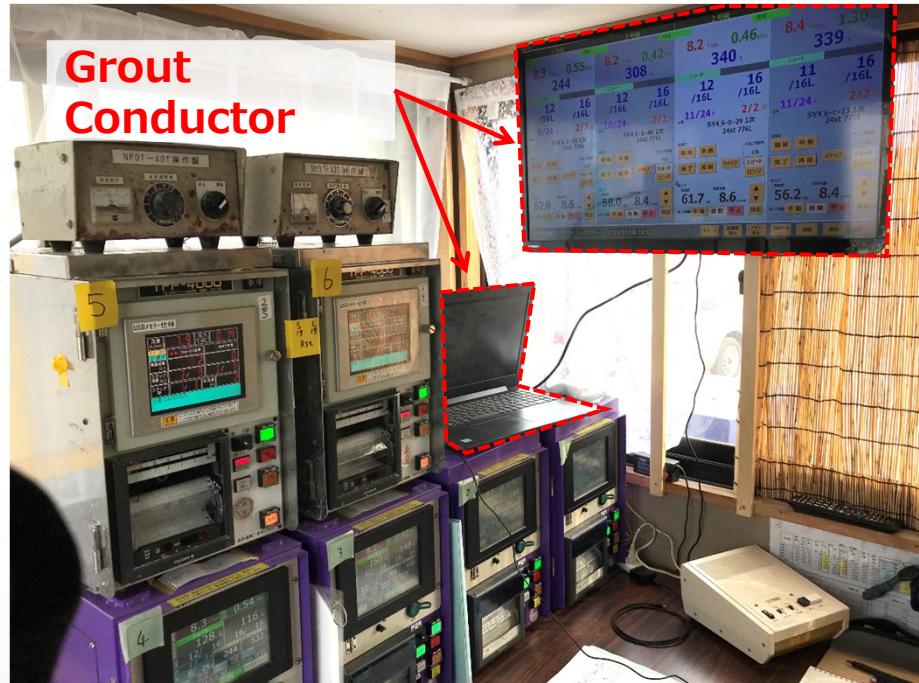
# Grout Conductor の機能 (3)

✓注入データをデジタルで集積 (省力化)

→ 施工データの3D表示が可能



# Grout Conductor 稼働状況 (1)



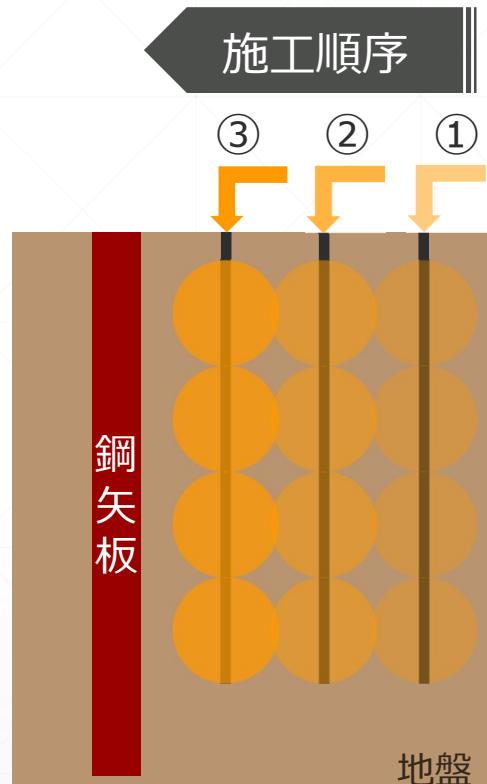
## Grout Conductor 稼働状況 (2)



# 3D表示の有効活用

従来では確認が難しかった地中内の注入状況を  
『**容易**』に、『**素早く**』確認することができます。

# 注入圧力による改良効果（注入量の過不足）の確認



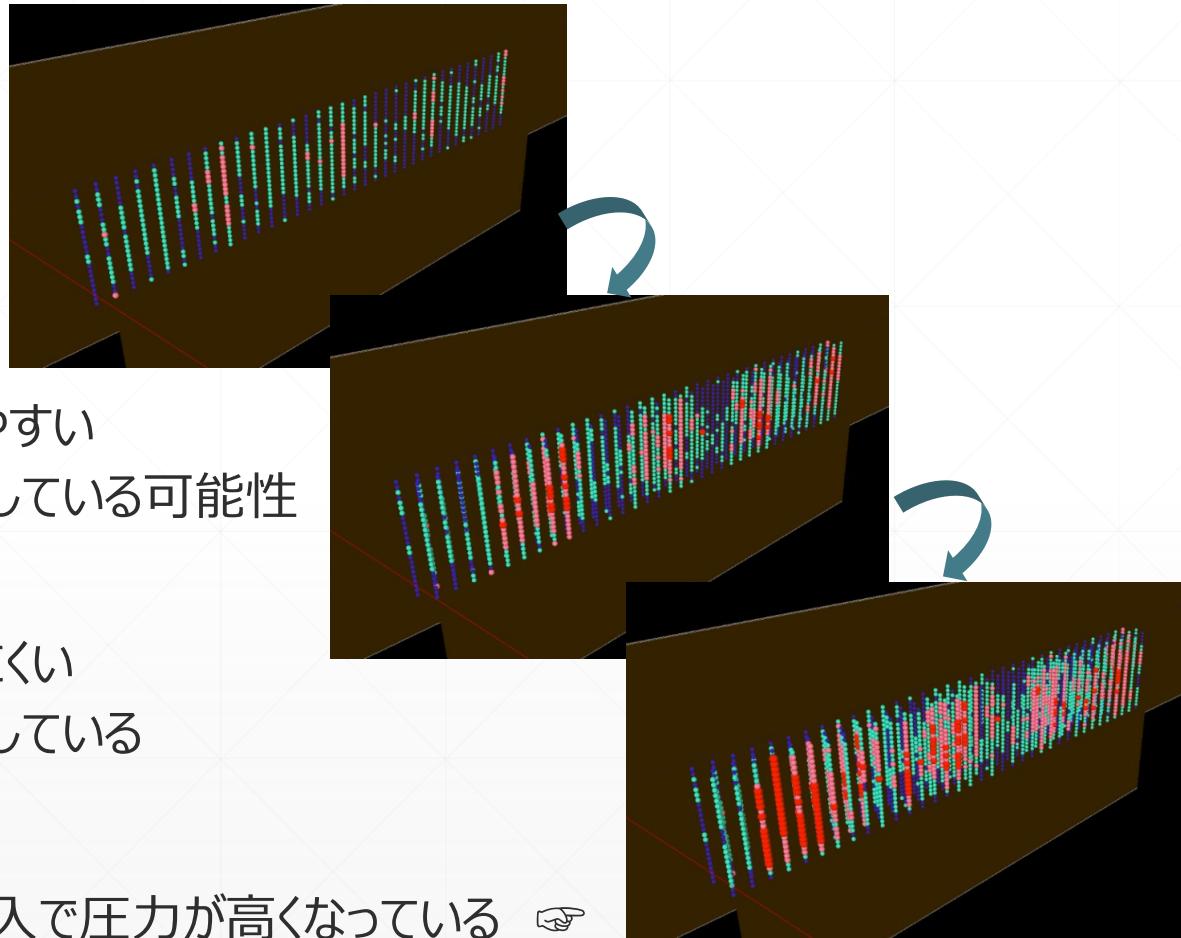
鋼矢板の外側から内側に施工

圧力が低い

- ・注入材が入りやすい
- ・注入量が不足している可能性

圧力が高い

- ・注入材が入りにくい
- ・注入量が満足している



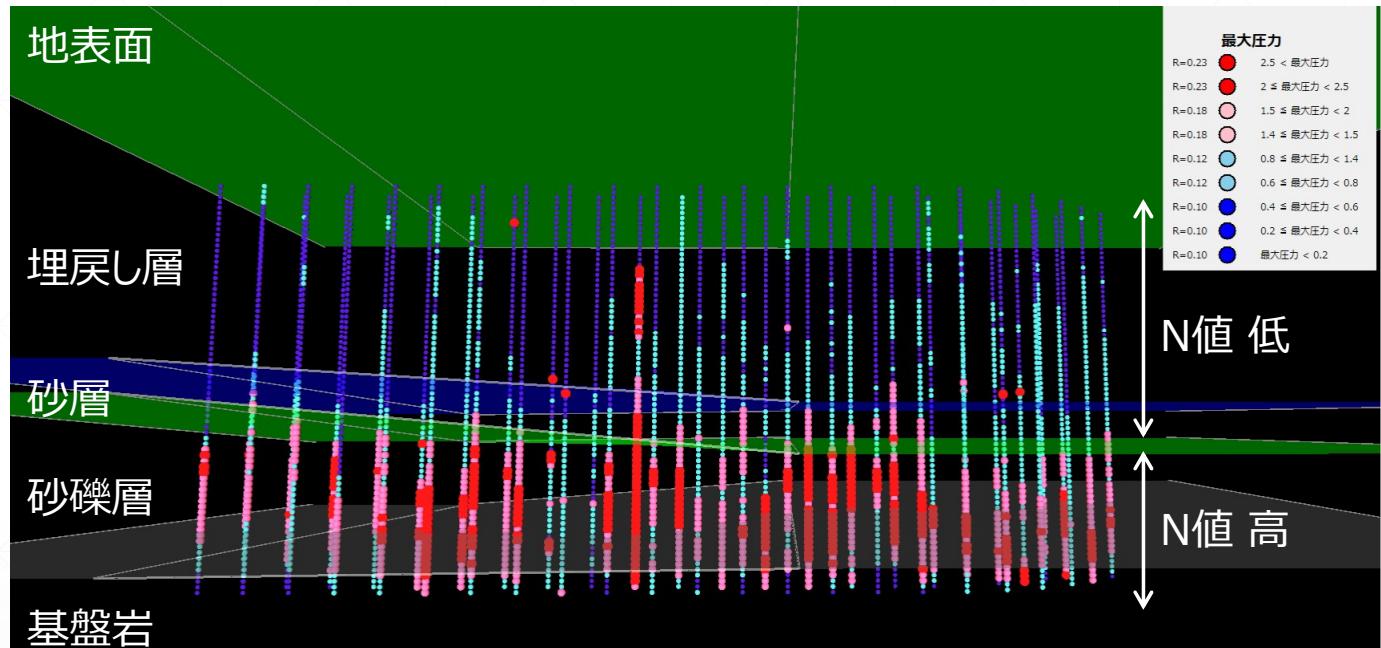
外側の注入が壁の役割を果たし、内側の注入で圧力が高くなっている



# 地盤情報とのリンク

深度 m	GW-1 土質 区分	GW-2 土質 区分	GW-3 土質 区分	GW-4 土質 区分	CA-1 土質 区分
19.0	砂	シルト	砂	シルト	
25.0	粘土混じりシルト質砂層	シルト	粘土質砂層	シルト混じり砂層	シルト混じり砂層
30.0		65	16	79	11
40.0		28	17	14	63
45.0		65	13	7	32
50.0		10	13	11	17
55.0		9	14	8	17
60.0		27	13	9	15
65.0		10	18	8	10
70.0		5	17	4	14
75.0		7	18	7	14
80.0		4	17	10	28
85.0		6	12	7	9
90.0		4	28	10	11
100.0		27	88	56	40
110.0		-	粘土混じり砂層	砂層	75
120.0		-	-	300	63
130.0		-	-	300	-
140.0		-	-	-	-
150.0		-	-	-	-
160.0		-	-	-	-
170.0		-	-	-	-
180.0		-	-	-	-
190.0		-	-	-	-
200.0		83	粘板岩	粘板岩	粘板岩
210.0		188	-	-	-
220.0		-	-	-	-

調査ボーリング結果



- 圧力が低い：注入材が入りやすい ➡ N値が低い範囲と一致
- 圧力が高い：注入材が入りにくい ➡ N値が高い範囲と一致

**地盤情報と施工データの関係が一目で判断できる！**

## まとめ (Grout Conductorを使えば…)

- ① 施工情報をデジタル化、3D表示可視化し「見える化」に対応。
- ② 得られたデータの「集積、分析、評価」で効果の判定に活用。
- ③ 汎用機械の制御・運転を自動化することで、作業員の省力化、  
負担を軽減、熟練工不要。